

補正
予算

県と協力 災害対策

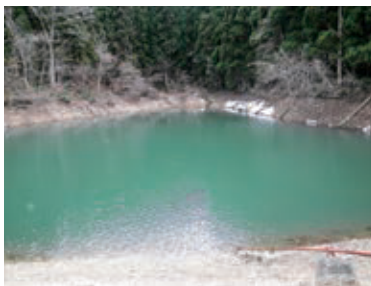
質 疑

◆川戸・金剛地区ため池等整備事業

老朽化のため、ため池本体からの漏水が著しく、決壊の恐れもあり、災害防止のため、早急に整備するもの。県事業により実施し、町は負担金を支払う。令和4年度の事業完了を目指す。

質 疑
川戸・金剛ため池の整備状況は
委員 川戸・金剛地区ため池等整備事業の減額要因は。
当局 町の平成30年度当初予算の編成後に、国の29年度補正予算が成立した。そのため、30年度予算で実施する予定だった、ため池までの工事用道路の整備

などが、29年度予算で前倒して実施されることとなった。その分を減額調整するもの。
委員 整備の状況は。
当局 ため池本体の改修までは至っていないが、工事は順調に進んでいる。



いつもは穏やかだが…



整備された工事用道路

下流域の不安解消へ、十分な安全対策を。

一般会計補正の主なもの

民間保育所支援事業費補助金 △108万円
ひがしね保育園整備支援について、事業実績見込み等による調整。

川戸・金剛地区ため池等整備事業 △994万円
事業費の確定による調整。

担い手確保・経営強化支援事業 1705万円
経営発展に必要な農業用機械等の導入を支援する。【H30国補正分】

地籍調査事業費 2116万円
国の補正予算の配分を受け、令和元年度実施予定分を前倒して実施する。【H30国補正分】

プレミアム付商品券事業 124万円
プレミアム付商品券事業の事務費。【H30国補正分】

移住定住支援交付金 90万円
執行状況及び事業実績見込み等による追加計上。

下水道特別会計繰出金 5900万円
鮎貝中継ポンプ場移設工事等について、一般会計からの繰出金により対応するもの。県からの補償費は、令和元年度に歳入となる。
など

◎財源は国・県支出金、繰越金などで対応します。

平成30年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額	
一 般 会 計	3491万円	93億1965万円	
特別会計	下 水 道	△354万円	6億1852万円
	国民健康保険	△4528万円	15億6948万円
	農業集落排水	△2051万円	1億4987万円
	介 護 保 険	△2301万円	17億705万円
	後期高齢者医療	134万円	1億4957万円

※万円未満は端数を調整しています。